

根室管内

北海道中標津支援学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒086-1053 標津郡中標津町東13条北7丁目15番地2
- 問 合 せ 先 TEL 0153-72-6700
FAX 0153-72-6701
E-mail n-koyo-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.n-koyo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
学校の目標
「社会参加・自立を目指し、生き生きと活動する児童生徒を育てる」
児童生徒の目標
「カッコいい大人になる」
- 校 訓
「健康」「思いやり」「意欲」「協力」



□ 概 要

本校は平成8年に職業学科を設置する特別支援学校として開校しました。地域資源を活用した体験的な学習を通して、卒業後の社会参加と自立に向けて一人一人の目標を達成できるように計画的に進めています。寄宿舎においては、基本的な生活習慣の確立と集団生活の中で互いに協力することや責任を果たすことを目指しています。なお、令和元年度より小、中学部を開設、令和4年度より高等部に普通科が開設されました。根室管内唯一の特別支援学校として、様々な教育的ニーズのある児童生徒が一つの校舎で学んでいるところが特徴になります。

■特色ある教育活動（設置学科：園芸科 窯業科 木工科 家庭総合科 普通科）

高等部教育目標

【職業学科】

生徒一人一人の卒業後の目指す姿に応じて、適切に社会参加と自立を目指す生徒を育てる

【普通科】

生徒一人一人の発達段階に応じて、自分らしく社会参加と自立を目指す生徒を育てる

【 生徒主体の個別の指導計画 】

職業学科は令和3年度から個別の指導計画を生徒主体の様式へ変更し、生徒と目標を一緒に考え、その成果を自分で評価したり、教師の評価を伝えたりするものになりました。「カッコいい大人」を目指してどのような力を身に付けたいのか、生徒が主体的に目標を立てられるように進めています。なお、普通科においては、生徒の実態や教育的ニーズに応じて指導目標や学習内容、手立てなどを教師が考え、保護者と確認する様式の個別の指導計画を活用しながら指導や支援を実践しています。

【 地域ニーズに応える作業学習 】

本校の作業学習は、地域のニーズに応え、地域で生徒が活躍することを目標に取り組んでいます。主に、近隣地域からの受注作業や中標津町役場や商工会議所、地元企業などと連携し、ふるさと納税の返礼品や花壇整備、製品販売等の取組を進めています。NS祭（学校祭）における即売会NSGフェスティバルは、生徒主体で企画をし、地域と連携しながら進めていきます。

※高等部普通科の受検資格については、原則として本校の中学部卒業（含見込）の生徒となります。



現場実習



見学旅行：東京



進路学習（職業学科）



NSGフェスティバル：地域即売会



スポーツ祭：玉入れ



作業学習（普通科）

■第1学年生徒の週時程表

【職業学科(職) 普通科(普) 普通科(重)】																					
	月			火			水			木			金								
	職	普	重	職	普	重	職	普	重	職	普	重	職	普	重						
1	LHR			体力づくり	体力 / 自立活動	体力づくり	体力 / 自立活動	体力づくり	体力 / 自立活動	体力づくり	体力 / 自立活動	体力づくり	体力 / 自立活動	体力づくり	体力 / 自立活動						
2	作業学習	国語	自立活動	音楽	数学	自立活動	国語	国語	自立活動	作業学習	数学	自立活動	数学	音楽							
3		作業学習	作業学習	美術 / 進路学習	美術 / 生活単元学習	保健体育	生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習		生活単元学習	作業学習	作業学習	生活単元学習	生活単元学習						
4		作業学習	作業学習	美術 / 進路学習								生活単元学習	生活単元学習			生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習			
5		生活単元学習			作業学習							作業学習	生活単元学習			作業学習	作業学習	生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習
6	生活単元学習			作業学習	作業学習					生活単元学習		作業学習	作業学習			生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

登校時間 8時30分（月～金）

下校時間 15時10分（月～木） 13時20分（金）

■教育課程の特徴

□ 自立活動の指導

本校独自の「自立活動アセスメントシート」を活用した客観的な実態把握を基に指導を行っています。職業学科では、生徒と面談を行い、生徒自身の得意なことの理解など自己認知を高め、作業学習等教育活動全体を通して指導を行っています。普通科では、授業時数を設定して指導を行っています。

□ 進路に向けた学習

職業学科では、進路学習をとおして、ビジネスマナー等を学習し、就労に向けた準備をしています。近隣の福祉サービス事業所やグループホームを見学したり、卒業後の就労や生活について卒業生や事業所から話を聞いたりする活動を行っています。普通科では、発達段階に応じて、卒業後の生活に向けた学習を行っています。

現場実習は、第1学年は1週間、第2学年は3週間、第3学年は前提実習で最大5週間行っています。

□ 生活単元学習（セルフ）

職業学科では、毎週木曜の6校時セルフプロデュースを行っています。この時間は生徒の将来の夢を実現するために、職業調べや実現のための人生設計、到達度チェックなどを行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

- 一般就労（就労継続A型含む）～7名【小売、飲食、農業】
- 福祉サービス（移行支援/就労継続B/自立訓練/生活介護）～15名
- その他～2名

学校のWebページ

